

「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム」に参加しました！



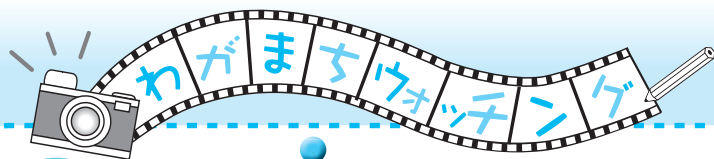
平成30年12月1日(出)～2日(日)、東京都で開催された「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム」に、益田の医療を守る市民の会が参加しました。

このシンポジウムは、地域医療の課題を解決するには地域住民の理解や協力などの「住民の力」や、住民の主体的活動が重要であることを共通の認識とすること、住民と地方自治体行政との相互理解・協働が不可欠であることの認識を共有し、また、そのような住民の団体（住民グループ・NPO 法人等）が全国的な連携をとれるようなネットワー

クづくりを目的としており、今回で10回目の開催となりました。

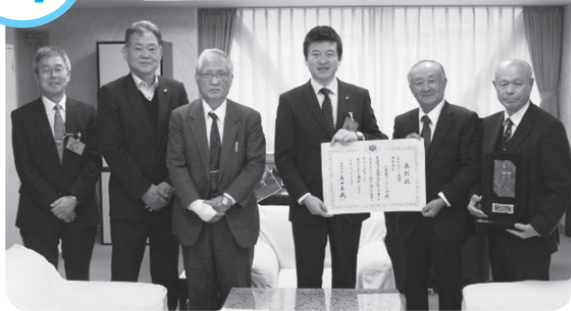
今回は、住民活動で伝えたいことを伝えるための手段の一つとして寸劇に取り組みました。日頃から地域で寸劇を上演している団体の寸劇を見た後、「病気になるための栄養・食育」、「病気になるときに困らないために」といったテーマごとに各団体の方々とシナリオを作り、上演しました。

益田の医療を守る市民の会の皆さんは救急病院の適正利用などの啓発活動を行っていますが、幅広い方々に伝える手段として寸劇も有効だと感じられたようでした。



わがまち Watching

2/17



みんなで つろうて ようしょうやあ！

平成30年度ふるさとづくり大賞 団体表彰(総務大臣表彰)受賞報告

「ふるさと」をより良くしようと頑張る全国各地の団体等を表彰する「平成30年度ふるさとづくり大賞 団体表彰(総務大臣表彰)」を受賞した、二条地区の地域自治組織「二条里づくりの会」が市長を表敬訪問し、受賞の報告と今後の抱負について述べました。

地域の様々な課題を解決するため、地域自治組織を立ち上げ、地域ぐるみで元気な邑づくりサイクルに取り組んでいる点が評価され、今回の受賞となりました。

森で海を救おう植林事業

戸田小学校の児童と北仙道保育所の園児、漁業関係者、林業関係者あわせて89名が協力して、津田町の山林にクヌギの苗木500本を植林しました。

益田市沿岸漁業水産振興協議会が主催するこの事業は、植林を通して環境保全に対する意識を高めるとともに、広葉樹を植えて豊かな森林をつくることで森の栄養分を川や海へ供給し、益田市沿岸の豊かな漁場を維持していくことを目的としており、今年で15回目の開催となりました。

2/22



「森・川・海」のつながりが大切なんだね！